

栄養やまなし No. 104

公益社団法人山梨県栄養士会 〒400-0805甲府市酒折一丁目1-11 ☎055-222-8593 平成29年1月



管理栄養士・栄養士が 特に知っておかなければならないこと ～我々の役割は、栄養状態の改善である～

公益社団法人 山梨県栄養士会会長 田草川 憲男

平成29年の 新しい年にあたり、全国の栄養士会で特
に取り組んでいることをお伝えします。

栄養管理（ケア）プロセスへの理解と活用

経緯：

- ・栄養状態の判定は、同一人物の対象者でありながら、それぞれの管理栄養士が多様な問題点を挙げる段階で終了することが多かった。（総合的に判断していなかった）
- ・栄養管理の重要性が認識されるなか、栄養に関する言語や概念、さらに方法に統一性がなく、混乱を起こしていることが分かってきた。
- ・栄養と食事のアカデミー（元 米国栄養士会）はこの様な状況を踏まえ、栄養管理に関する言語の定義づけを行い、栄養ケアプロセス(NCP)という栄養管理の過程を標準化するための手順(栄養療法の手順や方法を明確にする)を示した。
- ・さらに、この栄養ケアプロセス(NCP)の方法を国際的に標準化することを提案した。
- ・2005年7月 シカゴで栄養管理の国際的標準化に関する会議が行われ、米国、カナダ、イスラエル、オーストラリア、英国、日本が参加した。国際栄養士連盟に加盟する各国の栄養士会が中心となり、栄養ケアプロセス(NCP)を普及させることが確認された。

栄養ケアプロセス

(Nutrition Care Procss: NCP)

- ①栄養アセスメント
- ②栄養診断
- ③栄養介入
- ④栄養モニタリング

たとえば、栄養診断の方法とは

- ③症状／徴候(Sign/Symptoms)の根拠に基づき、
- ②要因(Etiology)が原因となった(関係した)、
- ①問題や栄養診断の表示(Problem Nutrition Diagnosis Label)と栄養診断できる。

これを、英語の文章表現だと、結論を先に伝える文章構成になるので(P・E・S)の順となる。

例 (たんぱく質の摂取が推定必要量より40%減少していることから(S)、味覚と食欲の低下による(E)、たんぱく質の摂取不足状態である(P))

介入、モニタリングへの展開

(たんぱく質の摂取が推定必要量より40%減少していることから(S)、味覚と食欲の低下による(E)、たんぱく質の摂取不足状態である(P))

(味覚と食欲の低下による(E))

→ どのようにすれば、味覚と食欲のが改善できるか

介入の計画・実施

？ 病気の症状、薬物、ストレス、食事、栄養剤

たんぱく質の摂取量が推定必要量より40%減少していることから(S)

→たんぱく質の摂取量をモニターする。

臨床検査値を参考にする。

生涯教育研修会で一緒に学んでいきましょう。

日本栄養士会 栄養管理(ケア)プロセス研修会「栄養管理(ケア)プロセスの意義」神奈川県立保健福祉大学 中村丁次氏講演より(平成28年10月23日 神戸国際会議室)

目次

新年のご挨拶

・会長 田草川憲男…………… 1

これからの研修会等の予定

・平成28年度第2回在宅訪問栄養食事指導従事
管理栄養士人材育成研修会…………… 2
・特定保健指導従事登録者および特定保健指導に
関心のある会員のための研修会…………… 2
・平成28年度山梨県栄養士会栄養学術研究会 …… 2
・第31回管理栄養士国家試験 …… 2

平成28年度 山梨県栄養学術研究発表会

(口頭発表)…………… 3

平成28年度 山梨県栄養学術研究発表会

(示説発表)…………… 4

お知らせ

・栄養士会のWEBサービスを利用しましょう …… 6
・平成28年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動 …… 7

各種事業・研修会等実施のようす

・歯の衛生週間に伴う栄養相談を実施 …… 9
・在宅訪問栄養食事指導従事管理栄養士人材育成研修会を開催 …… 9
・栄養指導実践セミナーを開催…………… 10
・児童福祉施設におけるクッキング講座を開催 …… 10
・関東甲信越地区各県栄養行政担当者・栄養士会長・
栄養士連盟支部長合同会議を開催…………… 10
・日本栄養士会災害支援チーム(JDA-DAT)
リーダースキルアップ研修及び第6回リーダ
育成研修に参加いたしました。…………… 10
・いきいき山梨ねんりんピックでの栄養相談の取り組み …… 10
・指導者のための健康・栄養セミナーを開催 …… 10
・県民の日記念行事での栄養相談の取り組み …… 11
・県栄養管理研修会を実施いたしました …… 11
・第33回歯科保健のつどいに参加しました …… 11
・出前栄養相談事業…………… 11
厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます…………… 14

山梨県知事表彰受賞おめでとうございます…………… 15

「会員の声」…………… 14

職域事業部のコーナー

・学校健康教育事業部…………… 19
・公衆衛生事業部…………… 19
・研究教育事業部…………… 20
・勤労者支援事業部…………… 20
・地域活動事業部…………… 21
・医療事業部…………… 21
・福祉事業部…………… 22

栄養ケアプロセスについて …… 14

在宅訪問栄養指導従事管理栄養士育成研修会を開催して …… 14

各職域事業部の「課題・取り組み・今後の取り組みの
方向性」を聞きました。…………… 14

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

・公益社団法人 山梨県栄養士会役員一同…………… 27
・公益社団法人 山梨県栄養士会賛助会員…………… 28

事務局からのご案内…………… 14

これからの研修会等の予定

生涯教育研修会（平成28年度 第8回目）	
と き	平成29年2月18日（土） 10：00～15：40
ところ	山梨学院短期大学51号館
内 容	講演 10：00～11：30 演題 衛生管理、感染対策H A C C Pを理解する・大量調理施設衛生管理マニュアルを理解する。
講師	山梨学院短期大学食物栄養科 教授 中川 裕子 先生
講演	12：30～14：00
演題	災害時対応：特別な訓練を受けた管理栄養士・栄養士J D A－D A Tとは？
講師	日本栄養士会J D A－D A T運営委員 深澤 幸子 先生
講演	14：10～15：40
演題	サルコペニアについて
講師	筑波大学准教授 山田 実先生
平成28年度第2回在宅訪問栄養食事指導従事管理栄養士人材育成研修会	
と き	平成29年1月22日（日） 13：00～16：00
ところ	ぴゅあ総合 中研修室
内 容	講演 13：00～14：30 演題 高齢者の嚥下困難に管理栄養士として必要なスキルとは ～歯科医師の立場から～
講師	甲斐歯科医院 院長 山川 治 先生
事例発表及び意見交換	14：30～16：00

特定保健指導従事登録者および特定保健指導に関心のある会員のための研修会

と き 平成29年2月1日（水）
13：30～16：00

ところ 日星ビル3階会議室
（山梨県栄養士会入居ビル）

内 容

1. 昨年度の特定保健指導の実施状況
2. 「困難事例を、私はこのように対応した」
3. 特定保健指導を実施するに当たっての、注意事項
4. 質疑応答・意見交換会

平成28年度山梨県栄養士会栄養学術研究会

と き 平成29年2月26日（日）
13：00～16：30

ところ ぴゅあ総合 大研修室

内 容

13：15～14：45
口頭発表 各事業部より7題
座長 山梨学院大学健康栄養学部
教授 藤井 まさ子

15：00～16：30
示説（ポスター）発表10題
（示説見学は12：30～）
座長A 山梨学院短期大学
教授 中川 裕子

座長B 山梨大学健康栄養学部
助教 古閑 美奈子



平成29年度定時総会

と き 平成29年6月24日（土） ところ 山梨学院短期大学（予定）

第31回管理栄養士国家試験

試 験 日 平成29年 3月19日（日）
願書受付日 平成29年 1月6日（金）
～1月13日（金）

厚生労働省より、受験要領・願書が山梨県栄養士会事務局に届いています。必要の方は、郵送料として切手205円を同封して山梨県栄養士会に申し込んで下さい。希望者に郵送いたします。
☆管理栄養士資格取得後は栄養士会に変更の連絡をお願いします。

平成28年度 山梨県栄養学術研究会（口頭発表）

日 時 平成29年2月26日（日）
13時00分～16時30分

会 場 ぴゅあ総合大研修室

学校健康教育学部

特別支援学校における学校給食エネルギー目標量の算出について

県立盲学校 山田 智子

学校給食における特別支援学校の特徴を把握するため、身体状況等をもとに学校給食エネルギー目標量算出を行った。H28年4月時点の県内支援学校児童生徒の身体状況を把握し、年齢階級毎給食エネルギー量の中央値を求めた。結果、すべての年齢階級で学校給食摂取基準値を下回った。中央値±10%の範囲内の対象者の割合は、高等部を除く年齢階級で50%以下であった。このことから、各学校の目標量算出が必要であるとわかった。給食エネルギー量の個人差が大きいという特徴から、学校栄養士だけでなく他職種と連携した多方面からの対応が必要であることが示唆された。

公衆衛生事業部

富士吉田市における減塩推進の取り組みについて摂取塩分チェック事業を中心に

富士吉田市役所健康長寿課 外川 泉

昨年度実施しました、24時間蓄尿による摂取塩分チェック事業について報告します。塩分摂取量の概況や食生活の特徴について興味深い結果がみられました。汁やかけしょうゆ等の摂取、野菜摂取を中心にお伝えします。さらに、塩分に対する味覚域の検査や適塩献立の試食、だしを中心とした郷土料理の普及（協力：食生活改善推進委員会）などの事業を紹介します。

研究教育事業部

食品衛生管理における手洗い操作の検討

山梨学院短期大学 関戸 元恵

本研究では、「大量調理施設衛生管理マニュアル」に準じた手洗いを実施し、手洗い後の殺菌消毒剤の種類や使用量による殺菌の有効性を検証した。アルコール製剤では、使用液量の少ない殺菌でコロニー数の増加傾向がみられ、使用液量の多い殺菌でコロニー数の減少が確認された。逆性石けん液では、30秒間の浸漬によりコロニーの減少が顕著であった。今回の発表では、調理における手洗いの意識調査についての結果報告も行う。

地域活動事業部

診療所にて外来栄養食事指導の取り組み

芦沢 恵介

＜要旨＞

2016年12月より大月市内の診療所にて外来栄養食事指導が開始されました。食に対しての難題が多いという情報を踏まえて、管理栄養士として何ができるのか。患者さまに寄り添い、現実可能な行動とは…始まったばかりではありますが、患者さまとの栄養指導実施内容について発表させていただきます。

勤労者支援事業部

大学体育会男子選手の朝食意識にかかわる因子分析

公益財団法人キープ協会 キープ自然学校 大柴 由紀

昨年、本報の全体把握として朝食意識に関する大まかなアンケート調査を実施し、喫食率の調査及びそれにまつわる因子の抽出を行った。喫食率及び意識にかかわる因子には様々なものがあると考えられるが、前日の疲労度、帰宅後の食事、スケジュール、睡眠時間など夜から朝にかけての因子も挙げられる。朝食喫食がエネルギー量及び栄養素の充足率に大きな影響があることは周知の事実である。本報ではこの点に注目して因子分析を行った。

医療事業部

精神科思春期病棟でのスマイル教室（集団栄養指導）の現状と課題

山梨県立北病院 栄養管理科 平井美樹夫

思春期病棟での集団栄養教室のこれからの検討するため、過去の教室の実施方法や内容、参加者の様子、アンケート結果を振り返り考察した。その結果次の3点を考慮しながら続けていくこととなった。1、一方的な講義型ではなく患者参加型の教室を目指す。2、時事、美容など興味を引くテーマで宣伝し、楽しみのある教室を目指す。3、効果判定のため評価方法を工夫していく必要がある。

福祉事業部

食物アレルギー対応レシピ(おやつ編)について

土橋きく江¹⁾ 井上さなえ²⁾

¹⁾ 市川三郷町立 三珠保育所 ²⁾ 富士川町役場 子育て支援課

峡南地区保育所栄養業務研究会では、年々増加している食物アレルギーを持つ園児対象の代替食おやつのレシピの研究を考えていたが、食物アレルギー食品を除去してもおいしく食べられる物を検討した方が良いのではないかと考え、
大量調理に適した、誰もが安心しておいしく食べられるおやつレシピを作成することにしました。その取り組みについて報告したいと思います。

学校健康教育学部

学校給食を「生きた教材」として活用した食育

笛吹市立一宮西小学校 早川 貞子

学校における食育を充実させるためには、学校教育活動全体を通して行うことが求められています。その中で毎日繰り返し行われる給食の時間は特に重要だと考え、郷土料理や行事食の実施、地場産物を活用した献立、体験活動を活かした献立、希望献立などを実施し、おいしく、魅力的で教育的効果がある学校給食の提供を目指しています。一宮学校給食センターでの学校給食を活用した食育の取組を紹介します。

公衆衛生事業部

平成26年度県民栄養調査 子どもの食生活状況調査結果からみえた課題について

峡東保健福祉事務所（峡東保健所）健康支援課 早川美香子

要旨

【目的】児童生徒により効果的な食生活の普及・啓発事業を行うために、平成26年度県民栄養調査の子どもの食生活状況調査結果から、県全体及び管内における課題を把握する。【方法】平成26年度県民栄養調査の子どもの食生活状況調査結果の集計・分析。【結果及び考察】子どもの朝食摂取関連状況では、管内の朝食欠食者割合は県全体よりも低い等良好であったが、学年が上がるにつれて朝食の摂取頻度が低くなる等、県全体同様に高校生に多くの課題がみられた。【結論】地域や学校等関係機関と連携し、特に高校生及び保護者に対しての食知識や技術の普及・啓発活動が必要だと考え、管内1高校を対象とした食育教室の実施を試みた。

地域活動事業部

平成28年度 出前栄養相談事業の報告、ならびにアンケート集計と分析結果

佐野 桂子、前田 英美

地域活動事業部では毎年、児童館にて児童または乳幼児とその保護者に対し出前栄養相談事業を行っている。今年度は7市町村34会場35回の開催となる。『なんでも食べる子、元気な子』をテーマに「塩山式手ばかり」と「子供の頃からの減塩」の2つの内容について、媒体や配布資料を統一化し、担当する部会員には事前研修を行った。対象者への朝食に関する調査、教室後の理解度などのアンケート集計結果を発表する。



医療事業部

配膳ミスの減少への取り組み

市立甲府病院 栄養管理室 田中 雪江

要旨

医療安全の観点からも、患者に間違いなく食事提供を行う必要があるため、インシデント報告を上げの中で特に多かった異物混入や付け間違いを中心に、給食委託業者と共に防止対策をたて、配膳ミス減少への取り組みを行った。インシデント事例に対する再検討を行ったり、また年間の目標数字を掲げて職員の士気を高めながら取り組んだ結果、年々ミスは減少し、給食委託職員の業務向上、及び病棟スタッフの業務軽減にもつながった。

福祉事業部

水分ケアの取り組みについて

社会福祉法人 白根聖明会 特別養護老人ホーム 深澤久美子

当園では、排便コントロールや脱水予防、傾眠予防、認知症状の軽減などを目指し、起床時、朝食時、10時、昼食時、3時、夕食時に利用者様に飲み物を提供し、記録、チェックを行っています。水分ケアを実施前と実施後の利用者様の変化や下剤の使用頻度の減少、傾眠予防したことによる食事の常食化などについて紹介していきたいと思います。

研究教育事業部

夏季臨海実習を通じた学修効果の検討～魚介類・肉類摂取量に着目して～

青木 慎悟¹⁾、遠藤 清香²⁾、牧野 美咲¹⁾、
菅嶋 泰成¹⁾

¹⁾ 山梨学院短期大学 食物栄養科 ²⁾ 山梨学院短期大学 保育科

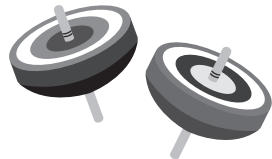
抄録：日本人の若年女性を対象とした横断研究において、魚介類と肉類の摂取比率が、好ましい食品群・栄養素の摂取と関連することが示唆されている（Nutr Res. 2011.）。そこで本研究では、2泊3日の夏季臨海実習における実践教育の学修効果を検討することを目的に、食関連の項目として、大学生の食事摂取量（特に魚介類・肉類摂取量）に与える影響について検討を行った。参加者群と対象者群に対して、実習の前後に簡易型自記式食事歴質問票（BDHQ）を用いた食事調査を実施した。教育的配慮から、臨海実習不参加者についても研究終了後に簡易的な食教育を行った。本研究は発表者が所属する施設の研究倫理委員会の承認を得て実施した。実習前の食事摂取量は、参加者群と対照群で有意な差は見られず、国民健康・栄養調査の報告と同様に、肉類よりも魚介類の摂取量が少ない傾向が確認された。現在、事後調査の分析を行っており、当日は、夏季臨海実習を通じた食習慣の変容について報告を行う。

正月関連の食事と伝承に関する研究

牧野 美咲¹⁾、村松 香侑²⁾、依田 萬代¹⁾

¹⁾ 山梨学院短期大学 ²⁾ 山梨学院大学

要旨：近年、食品工業や生活様式等の急激な変化から郷土料理や行事食は年々薄れつつある。特に正月料理は材料準備の手間や調理法が困難という理由から既製品を扱う家庭が増えている。そこで、正月料理関連の伝承意識の向上を目的とし、栄養学を学ぶ学生にアンケートを行い実施状況を調査した結果、多くの学生が正月関連の料理を伝承したい考えであった。教育を通してレシピ集やHP等でその重要性を継承していきたい。



山梨県民が摂取する調味料は何から摂っているのか？（第1報）

深澤 実希、志村 南美、今澤 俊哉、古閑美奈子、
藤井まさ子

山梨学院大学 健康栄養学部

要旨：山梨県民は食塩摂取量が多いことが知られているが、食塩の摂取源はしょうゆ、塩、味噌、その他の調味料の割合が約6割を占める。本研究では、調味料摂取を詳細に検討することを目的にした。その他の調味料から摂取量が多い食品を抽出したところ、顆粒風味調味料、めんつゆが挙げられた。調味料の摂取量を料理別にみると、汁物からの摂取が多いことが明らかになった。また、調味した主食の摂取回数が多い者は食塩摂取量も多かった。

山梨県民が摂取する調味料は何から摂っているのか？（第2報）

籠利 璃奈、山内 美紗、望月 美聡、古閑美奈子、
藤井まさ子

山梨学院大学 健康栄養学部

要旨：第1報と同様の目的で研究を行った。主菜を料理別に分類し食塩摂取量を検討したところ、炒め物からの摂取が多かった。主菜の品数と食塩摂取量との関連は、主菜の品数が多いほど食塩摂取量が多かった。副菜を食事区分別にみると、朝食は70歳以上で食塩摂取量がもっとも多く、汁物から0.97g摂取しており、若年者に比べて高齢者の摂取が多かった。昼食は60歳代、夕食は40歳代の摂取が多かった。

山梨県民が摂取する調味料は何から摂っているのか？（第3報）

中村 優、曾焯 樺、岩下 彩、板橋 周平、
古閑美奈子、藤井まさ子

山梨学院大学 健康栄養学部

要旨：第1報と同様の目的で研究を行った。調味料のうち、食塩摂取量の多いしょうゆについて料理別にみたところ、副菜としてもっとも多く摂取していた。漬物の摂取との関連は、漬物を摂取している者は食塩摂取量が多かった。飲酒習慣との関連は、男性で飲酒頻度と食塩を多く含む食品の摂取頻度に関連が見られた。食塩を控える行動との関連は、食塩を控えている群と控えていない群について食塩摂取量を比較したが関連はみられなかった。

お知らせ

栄養士のWEBサービスを利用して、研修会の申込みができます！！

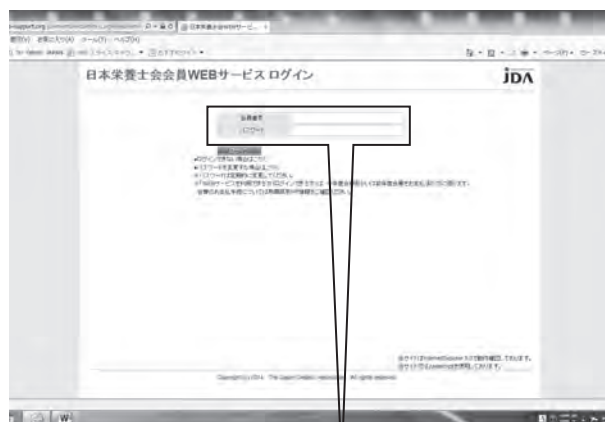
1. WEBサービスを利用するためのIDとパスワードはご存じですか？
不明の会員様は山梨県栄養士会事務局にお尋ねください。（055-222-8593）
2. WEBサービスで何ができるの？
（1）住所や氏名、資格等、自身の個人情報に変更があった時、ご自身でデータを更新出来ます。
（2）山梨県だけでなく、日栄や各都道府県栄養士会が開催する研修会に手軽に申込みが出来ます。
☆さあ、山梨県栄養士会ホームページにアクセスしてみましょう！！



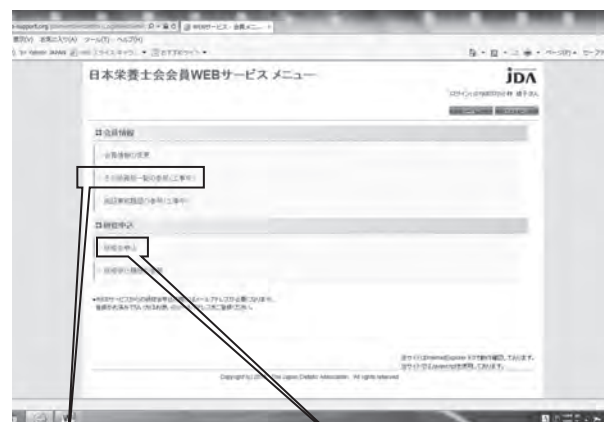
① トップページ「会員Webサービスはこちら」をクリック！！



② 「会員Webサービスはこちらからログイン」をクリック！！



③ 「会員番号」と「パスワード」を入力！！（※パスワードは平成27年「日本栄養士会雑誌」7月号に同封され送付されておりますが、紛失された方はパスワードを再発行いたしますので、山梨県栄養士会事務局（055-222-8593）までご連絡下さい。）



④ 「会員情報の変更」をクリックし、変更する情報を入力更新して下さい。

*「研修会申込」をクリックすると栄養士会で開催される研修会の申込みが出来ます。

平成28年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動（H28.1.1～12.3）

栄養業務研究発表会・新任者研修会 H28.2.27（土） 山梨学院短期大学



世界腎臓病デー 2.28（日） イオンモール



生涯教育研修会 H28.2.20



理事会 5.22 ぴゅあ総合



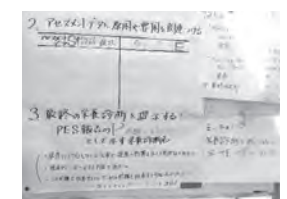
歯と口の健康週間 6.4～5 県内各地



歯と口の健康週間 6.4～5



生涯教育研修会 6.18 山梨学院短期大学



定時総会 6.24（金） ぴゅあ総合



平成 28 年 写真で見る山梨県栄養士会の主な活動（H 28.1.1 ～ 12.3）

在宅訪問栄養食事指導研修会 7.9（土）・8.2（火） ぴゅあ総合



栄養指導実践セミナー 7.23（土） ぴゅあ総合

県民健康づくりシンポジウム 9.2（金）



がんフォーラム 9.4（日） 県立図書館

JDA-DAT 育成研修会 9.17～19 駒澤女子大学



JDA-DAT 育成研修会

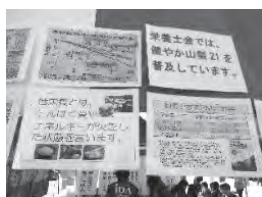
いきいき山梨ねりんピック 9.24（土）小瀬スポーツ公園



いきいき山梨ねりんピック 指導者のための健康・栄養セミナー スポーツ栄養 11.5（土） 山梨学院短期大学



県民の日における栄養相談 11.12～13 小瀬スポーツ公園



県民歯科保健のつどい 11.27（日） アイメッセ

健やか山梨 21 推進大会 12.3（土） 県立文学館



各種事業・研修会等実施のようす

歯と口の衛生週間に伴う栄養相談を実施

各支部での取り組み

・中北支部

と き 平成 28 年 6 月 5 日（日）
ところ 甲府市総合市民会館山の都アリーナ
イオンモール甲府昭和 計 2 カ所
内 容 ・料理カードを用いた食事バランス診断・
栄養相談
・食材カードを用いた食材噛み応えクイズ・
食育クイズ
・In-body を用いた体組成測定
協力者 青木慎悟（研究）・山田智子（学校）
伊藤貴子（勤労）・日向 誠（医療）
石井紀久子（医療）・市川菜美（医療）
大柴美里（医療）・藤田大地（医療）
齊藤寛子（医療）・鰻池春菜（医療）
廣瀬真美（公衆）・小澤優佳（医療）
萩原久美子（公衆）
山梨学院大学健康栄養学部学生 15 名
山梨学院短期大学食物栄養科学生 4 名



・峡北支部

と き 平成 28 年 6 月 5 日（日）
ところ 韮崎市民交流センター ニコリ
イオンモール甲府昭和 計 2 カ所
内 容 ・栄養相談
・飲み物に含まれる砂糖量との比較展示
・幼児の 1 日の食事見本（フードモデル）展示
・お菓子と同エネルギー量のおにぎりとの比較展示
・歯に良いおやつレシピや試供品の配布
協力者 丸山通子（地域）、堀内真理子（公衆）、
中島千里（医療）、堀込かずみ（医療）



・峡東支部

と き 平成 28 年 6 月 4 日（土）
ところ イオン石和店
いちやまマート山梨市店 計 2 カ所
内 容 ・食事指導、食育クイズ
協力者 村松 郁（福祉）・小尾(旧姓 林)佐緒里
古屋宏美（地域）・早川美香子（公衆）
青木雅子（公衆）



・峡南支部

と き 平成 28 年 6 月 4 日（土）
ところ 道の駅 富士川
内 容 ・ぬりえ（歯みがき啓発用）
・箸でいろんな大きさの豆をつまんでみよう！
（えんどう豆、曙大豆、黒大豆、金時豆）
・カルシウム量比べクイズ
・レシピ、雑穀配布
協力者 井上さなえ（福祉）・土橋さく江（福祉）・
柿島穂津美（福祉）



・富士・東部支部

と き 平成 28 年 6 月 4 日（土）
ところ Q - S T A
内 容 ・栄養相談
・清涼飲料水の糖分比較
・サンプル（Ca 強化ふりかけ・ウエハース・
はくばく五穀米）の配布
協力者 黒澤東江（福祉）・長田文江（地域）

在宅訪問栄養食事指導従事管理栄養士人材育成研修会を開催

と き 平成 28 年 7 月 9 日（土）・8 月 2 日（火）
2 日間
ところ ぴゅあ総合 中研修室・調理実習室
参加者数 72 名
内 容 講義 1「医療保険・介護保険における訪問
栄養食事指導の制度について」

講師	山梨学院大学健康栄養学部 教授 影山光代 先生
講義 2	「在宅訪問栄養に求められる栄養・ 食支援～管理栄養士ならできる 在宅に役立つ栄養ケアとは～」
講師	愛全診療所 管理栄養士 佐藤悦子 先生
講義 3	「高齢者の食力と歯科口腔機能について」
講師	花形歯科医院 院長 花形哲夫 先生
講義 4	「在宅医療を行うにあたって管理 栄養士に望むこと」
講師	長田在宅クリニック 名誉院長 長田忠孝 先生
実習	「介護食調理の実際」
講師	かとう内科クリニック 管理栄養士 田村佳奈美先生
講義 5	「訪問栄養の実際」
講師	かとう内科クリニック 管理栄養士 田村佳奈美先生



栄養指導実践セミナーを開催

と き	平成 29 年 7 月 23 日（土）
ところ	びゅあ総合大研修室
内 容	講演 1「高齢者のフレイルとその予防に 向けた栄養」 講師 東京大学医学部附属病院 准教授 小川純人 先生 講演 2「栄養相談の実践～継続できる 食生活改善か～」 講師 青森県立保健大学 准教授 齋藤長徳 先生 ワークショップ「健康長寿のための牛乳 乳製品摂取 Up を目標にした栄養指導」 ファシリテーター 山梨学院短期大学 教授 深澤早苗 先生



児童福祉施設におけるクッキング講座を開催

と き	平成 28 年 8 月 27 日（土）
ところ	山梨学院短期大学
内 容	調理実習「スキムミルクへの理解を深める」 講師 山梨学院短期大学 教授 根津美智子 先生 講義 1「乳幼児の食べる機能の発達について」 講師 おざわ歯科医院 院長 小澤 章 先生 講義 2「山梨県の地場産物について」 講師 山梨県農政総務部農政企画監 斉藤 修 先生
協力者	田草川憲男（会長） 沢村和子（福祉）・風間智恵（福祉） 土橋きく江（福祉）・藤巻藤子（福祉） 井上さなえ（福祉）

関東甲信越地区各県栄養行政担当者・栄養士会長・ 栄養士連盟支部長合同会議を開催

と き	平成 28 年 9 月 13 日（火）・14 日（水）
ところ	ハイランドリゾートホテル＆スパ
参加者	関東甲信越栄養行政担当者・栄養士会・ 栄養士連盟・事務局 28 名
内 容	1. 将来構想の実現について 2. 栄養ケア・ステーション活動について ー都道府県栄養ケア・ステーションの 運営強化ー 3. 生涯教育の推進について 4. その他

日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）リーダースキ ルアップ研修及び第 6 回リーダー育成研修に参加いたし ました。

と き	平成 28 年 9 月 17 日～ 19 日
ところ	駒沢女子大学
内 容	グループミッション等 参加者 「リーダースキルアップ研修」 渡邊瑞穂（公衆）・深澤幸子（医療） 「リーダー育成研修」 田草川憲男（会長） 堀川清美（地域）・青木雅子（公衆） 金井敬子（医療）・後藤あずさ（公衆） 中村恵美子（福祉）・廣瀬真美（公衆）

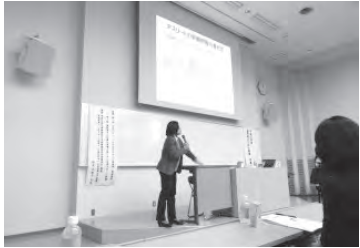
いきいき山梨ねりんピックでの栄養相談の取り組み

と き	平成 28 年 9 月 24 日（土）
ところ	小瀬スポーツ公園
内 容	「健やか山梨 21 ★国保いきいき広場ブース テント」における栄養相談業務
協力者	田草川憲男（会長） 山本 聖子（事務局長） 早川美香子（公衆）・内田由紀子（福祉） 桑原美樹（学校）・小林富士子（医療）

指導者のための健康・栄養セミナーを開催

と き	平成 28 年 11 月 5 日（土）
ところ	山梨学院短期大学 51 号館
参加者	・管理栄養士、栄養士 66 名

内 容	・一般（アスリート・指導者） 27 名 ・学院大学、短大生 22 名 講演 1「女性アスリートのためのスポーツ栄養」 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 鈴木志保子 先生 講演 2「運動選手に必要な食事の摂り方と 公認スポーツ栄養士の役割と活用」 講師 神奈川県立保健福祉大学 教授 鈴木志保子 先生
協力者	田草川憲男（会長） 深澤幸子（副会長）・平井美樹夫（副会長）・ 秋山知子（常務理事）・黒瀬百合（学校）・ 向山由紀子（公衆）・福井 智（研究）・ 小林貴子（医療）・天野江津子（勤労者）・ 村松由佳（福祉）・山本聖子（事務局長）・ 小林綾子（事務局員）



県民の日記念行事での栄養相談の取り組み

と き	平成 28 年 11 月 12 日（土）・13 日（日）
ところ	小瀬スポーツ公園
内 容	1. 料理カードによる塩分量クイズでの 減塩支援 2. 料理カードによる食事診断と診断に基 づく食事バランスガイドによる食生活 相談 < 12 日> 田草川憲男（会長）・秋山知子（常務理事）・ 黒瀬由合（学校）・藤原由紀子（公衆）・ 小野真由美（研究）・志村美幸（地域）・ 渡辺美恵（医療）・土橋きく江（福祉）・ 健やか山梨 21 普及啓発委員：秋山知子・ 早川美香子・飯沼一美・黒澤東江 山梨学院大学健康栄養学部学生ボランティア 11 名・ 小林綾子（事務局） < 13 日> 田草川憲男（会長）・平井美樹夫（副会長）・ 山本聖子（事務局長）・外川 泉（公衆）・ 福井 智（研究）・赤澤明美（地域）・ 細井洋子（医療）・遠山美紀（福祉）・ 健やか山梨 21 普及啓発委員：山下ますみ・ 風間智恵・赤澤明美・福井 智・ 山梨学院大学健康栄養学部学生ボランティア 7 名
協力者	



県栄養管理研修会を実施いたしました

と き	平成 28 年 11 月 20 日（日）
ところ	山梨学院短期大学 51 号館
内 容	（1）講演 「県民栄養の現状（県民栄養調査の結果） と県の栄養事業の動向について」 山梨県福祉保健部健康増進課 健康企画担当 副主査 渡邊瑞穂 （2）講演 「山梨県栄養士会の健やか山梨21（第2次） 推進の取り組み」 山梨県栄養士会会長 田草川憲男 （3）講演 「日本食品標準成分表2015年版（七訂） ～改訂と活用のポイントを理解する～」 講師 千葉県立保健医療 大学健康科学部栄養学科 教授 渡邊智子 先生

第 33 回県民歯科保健のつどいに参加しました

と き	平成 28 年 11 月 27 日（日）
ところ	アイメッセ山梨
内 容	1. 料理カードによる食事診断と診断に基 づく食事バランスガイドによる食生活 相談 2. 塩分量クイズによる減塩食育教室を実施
協力者	田草川憲男（会長）・平井美樹夫（副会長）・ 山本聖子（事務局長）・河西瑞穂（学校）・ 後藤あずさ（公衆）・牧野美咲（研究）・ 佐野桂子（地域）・赤澤明美（地域）・ 石川綾美（医療）・小林めぐみ（福祉）・ 山梨学院大学健康栄養学部学生ボランティア 3 名 山梨学院短期大学食物栄養科学生ボランティア 4 名・ 小林綾子（事務局）

出前栄養相談事業

児童館での取り組み

訪問した児童館	36 カ所
協力会員	地域活動事業部員 各 2 名ずつ
内 容	エプロンシアター、野菜のイラスト等を使用 したゲームによる食育、塩分クイズ



小規模事業所への訪問栄養指導

訪問した事業所	5 カ所
協力会員	栄養士会会員 各 2 名ずつ
内 容	事業所職員に対する栄養相談

厚生労働大臣表彰受賞おめでとうございます

厚生労働大臣表彰をいただいて



山梨学院大学健康栄養学部 藤井 まさ子
身に余る受賞に、栄養士会および関係機関の皆様のご配慮、ご尽力のおかげと、心より感謝申し上げます。

振り返ってみますと、この職業を選んだ原点となったのは、大学4年生の時の卒論作成のために、獨協医科大学の公衆衛生学教室と行った栃木県のB町の栄養調査でした。B町は、その当時脳卒中死亡率全国2位の農山村地域でした。使用していない農家の古い大きな軒家を宿舍として、医学部生、看護学生、教員を合わせ50名あまりの食事を仲間6人で3食作りながら、110世帯を対象として3日間の食事調査を行いました。夏休み前半に1週間かけて行った調査後は、食事調査のデータ入力と各家庭からいただいた自家製味噌とみそ汁、漬物について、原子吸光度計を使った塩分測定に明け暮れました。

結果の報告にうかがった時には、コスモスがきれいな季節になっていました。その後、卒論をまとめ終わったのは2月末だったと記憶しています。

手書きの製本した卒論を、今あらためて眺めると、食塩摂取量の多さと同時に動蛋白の低い数値が散見されます。その当時、コレステロールは低い方がいいといわれていた時代でしたから、原因と結果がマッチしないことに違和感を覚えたことを思い出します。医学・栄養学領域の進展はめまぐるしく、一方で様々な情報が発信され、専門職でも惑わされそうになることもしばしばです。科学的根拠に基づいた栄養指導を行うためにも、日々の学習は欠かせません。微力ではありますが、卒後も学習する姿勢を持った管理栄養士・栄養士の育成に日々力を尽くすとともに、地域社会、県民に対して専門職として少しでもお役に立てたらと思っています。

厚生労働大臣表彰を受賞して

地域活動事業部 小淵 正子

去る10月24日神戸国際会議場で開催された「栄養改善大会」の表彰式に参列して受賞の喜びを参加者の皆さんと共有して感じてきました。

このたびの受賞に関しましては田草川会長はじめ関係者のお力添えをいただきましてこのような名誉ある賞を受けることができて真に光栄なことと心からお礼申し上げます。

思い起こせばこの50年間よくここまで継続できて頑張ってきたものと我ながら感心しております。この間、人生の節目である結婚・出産・子育てをしながら管理栄養士試験に挑戦し、そして勤務先病院の倒産悲劇にも遭遇しました。

何があんでも医療を継続し患者さんを守りたい一身で家族を犠牲にしてまで、一心不乱働き続けてきました。好きな仕事を続けて来られたのは何と言っても家族の支えと仕事仲間の連帯と励ましがあったからこそ今日につながっていること感謝の気持ちで一杯です。現役時代に一緒に働いてくれた職場の皆様方、そして山梨勤労者医療協会のひのき舞台で栄養士活動を自由に任せてくれた役職員の皆様に改めて報告と感謝の意を申し上げます。

人生最大の勲章をいただき生涯の宝物とすることができました。

これを励みにこれからも自分にできることを更に追求し精進して参ります。

本日は真にありがとうございました。

山梨県知事表彰受賞おめでとうございます

知事表彰を受賞して

塩山市民病院 雨宮一二三

この度は、「健やか山梨21推進大会」の席上において平成28年度栄養関係功労者として、栄誉ある知事賞をいただくことになり大変感謝しております。栄養士の諸先生方、お世話になった職場の皆様方、また、家族にもあらゆる面から支えていただき、今日があることを改めて心より感謝しお礼を申し上げます。

栄養士として病院に就職した私に「患者さんこそが情報源」と教えをいただきました。私たちは患者さんから学び、健康を保持するために考えサポートしていく。それこそ患者さんが求めていること。

食べることや食べ方を工夫することにより、私たちは健康な身体、豊かな心も保つことができるのです。まさに医食同源。これは栄養士として職を賭していたからこそ学び、実感できたことだと思います。

健康番組が取り沙汰される昨今ですが、自分自身だけでなく患者さんや周囲の方々も、食を通して、今後も健康で充実した毎日を過ごせるよう、これからも皆様方にご指導いただき、頑張っていきたいと思っています。

知事表彰を受賞して

特別養護老人ホーム しもべ荘 柿島穂津美

この度は栄養改善功労者として、栄誉ある知事表彰を頂いたこと到大変感謝申し上げます。私に栄養士として働くチャンスを与えてくれた先輩、そして私の心の支えとなってくださった、栄養士会諸先輩方、行政関係担当者様、職場の皆様我心よりお礼申し当てます。

私は、栄養士養成学校卒業直後には、栄養士としての就職が叶いませんでした。その後縁あって病院栄養士として採用され、管理栄養士の資格を習得することができました。

栄養士として働いた20年の間には、「食」を通して大勢の方と交流し、うれしいこと、苦しいことがたくさんありました。専門職として栄養ケアをするには「思い」だけでは何も実現せず、確かな技術や知識を持ってこそ、その「思い」を実現できることを感じました。

現在は、介護老人保健施設で働いています。この受賞の喜びを忘れず、常に学ぶことを大切にして、より一層努力をしてまいります。ご指導、ご鞭撻をよろしくお願い致します。

「栄養関係功労者知事表彰」を受賞して

山梨大学医学部附属病院 小林 貴子

この度、栄誉ある栄養関係功労者知事表彰をいただき、大変光栄に存じます。ご推薦をいただきました中北保健所及び山梨県栄養士会の皆様に心より感謝申し上げます。

病院栄養士に携わって25年以上が経ちましたが、諸先輩や同僚の方々の多大なるご協力をいただき今日に至ることができました。

病院の患者給食は365日朝食・昼食・夕食と休むことなく提供されています。

本院の患者給食の食種は、栄養管理の必要性とともに増加する中、現在約180種類となり、新規入院患者は約1000人／月に達し、栄養管理・給食管理・衛生管理などに追われる日々であります。

今後も治療の一環としての患者給食の運営は直営方式で実施し、管理栄養士・栄養士・調理師とともに「安全で信頼される給食」であることを目途に努力していきたいと考えています。また、大学病院の経験を生かし、栄養士会や地域に貢献できるよう邁進していきますので、皆様のご指導をよろしくお願いいたします。

知事表彰を受賞して

山梨赤十字病院 小林富士子

振り返ってみると、すでに、30有余年栄養士業務に携わっている事になります。

改めて背筋が伸びる思いでした。

大学に入学した当初は、食品開発の仕事をしたいと密かに思っていたましたが、大学での学習、研究所でのバイトを経験したことで病態栄養に興味を持つようになりました。

そして、人と直接関わる仕事である病院栄養士を選択しました。

当時の管理栄養士の認知度は低く、業務の幅も一般的には狭かったと思います。

当院の場合は、給食業務をしつつ、栄養指導（個別・集団）・母親学級・町の健診事業協力・町の各教室等、様々な経験をさせて頂き、その点では充実していたと思います。

しかし、患者様と接する時間は少なかったことが残念だったよう記憶しています。

時代は変化し、現在は多職種チーム連携（NST・CKD・褥瘡・嚥下の各チーム等）及び、地域包括と活動の幅は更に拡大しました。

これからは病態に適した高い専門性も求められている時代です。

“栄養と食を通して命を守る専門職”という理念をもって、日々の仕事を積み重ねて行きたいと思います。

なにより今は、目の前にいる患者様に寄り添い“笑顔”で生活できる事、又、シームレスな栄養ケアが受けられる事の為、地域のシステム構築に携わっていきたいと思います。

この度、このような賞を頂けたのは、皆様の力添えがあってこそと感謝しています。

本当に有難うございました。

栄養改善功労者知事表彰を受賞して

特別養護老人ホーム 花菱荘 川窪真由美

この度は、栄養改善功労者表彰をいただき、ありがとうございました。

管理栄養士として、福祉施設の「食」に携わる中で食事作りを通して、利用者の皆様が健康で何時までも自身の力で食事が食べられること、そして毎日の食事を「美味しい」と思えること、そのためには何が必要で、何をすべきか、毎日奮闘しています。

初めて働いた施設も、現在の施設においても開設当初から携わる事ができたため、試行錯誤の毎日で今に至っています。

現在は、一人一人の栄養ケア・マネジメントをはじめ、嚥下食等を、多職種協力の中で頑張っています。今回、栄養改善功労者表彰の受賞に当たり、栄養士会の諸先輩をはじめ、栄養士会、福祉事業部の仲間、施設の職員の協力に深く感謝いたします。「今日も美味しかった」この一言をもらえる喜びを力にして、これからも「食」を大切にしていきたいと思います。

栄養関係功労者知事表彰を受賞して

山梨学院短期大学 塚原 順子

この度は、栄養関係功労者として知事表彰をいただき、身に余る光栄と存じます。このたびの受賞に際し、ご推薦をいただきました山梨県栄養士会及び関係各位の皆様方のおかげと心より感謝申し上げます。

山梨学院短期大学食物栄養科に勤務して38年目を迎えようとしていますが、これも諸先輩、同僚、後輩の先生方の支えをいただきましたおかげであると思っております。改めて皆様にお礼を申し上げます。

管理栄養士免許を持った大学の教員は管理栄養士・栄養士養成課程に在籍しているイメージがありますが、私は8年前から製菓衛生師養成課程に携わっております。本課程の教員として、管理栄養士、栄養士の資格となります。専門教科を担当することで、食と健康に関する基礎知識と技能を有する製菓衛生師の養成を目指しております。今後も栄養成分コントロール、アレルギー対応、山梨県の特産物を用いた製菓・製パンの製作ができる製菓衛生師を育てていきたいと思っております。



「井の中の蛙」にはなりたくない

学校健康教育事業部 上野原市立上野原小学校 栄養教諭 大神田志保

学校給食に携わり13年、栄養教諭に採用されて6年が経ちました。栄養教諭は、子どもたちが生涯にわたって健康に生活していけるよう「食の自己管理能力」や「望ましい食習慣」を子どもたちに身につけさせるための技術や指導力が必要です。私には、技術や指導力がどのくらいあるのだろうか、伝えたいことが伝えられているのだろうかと思うことがあります。最近は、栄養教諭の初任者指導を任されることがあり、責任感を感じ、気持ちが引き締まります。一緒に研修をすることで、給食管理や衛生管理の重要性、食育の大切さも改めて感じる事ができます。さらに、全国の栄養教諭と研修会や学習会をする機会があり、たくさんの仲間と出会い、たくさん情報交換をしてきました。同じ職種でも、地域や施設が違くとそれぞれの悩みや見習わなければならない事が見えてみます。様々な人の考えや気持ちを聞くことで、がんばっている仲間の姿に刺激を受け、自分の力になったり、視野が広がったりするのだと気付きました。

「井の中の蛙」にならないよう、広い視野で、出会いを大切に、栄養教諭として技術や指導力を磨くため何事にも励んでいこうと思います。

新年を迎えて

公衆衛生事業部 山梨市役所 健康増進課 健康支援担当 新津 佳美

あけましておめでとうございます。早いもので、入職してもうすぐ1年が経とうとしています。あっという間に過ぎた日々でした。振り返ると、春は不安と緊張でいっぱい、とにかく業務を覚えることや慣れることに必死でした。夏になると食育事業やイベントが始まり、秋まで続き、それらをひとつひとつやり遂げることで精一杯でした。そして、気づけば冬が来て、年が明け今度は後輩が入ってくる時期が近づいてきました。

今回このような新年の抱負を書く機会をいただき、これまでの日々を落ち着いて振り返り、また次年度への目標、自分のありたい姿を考えることができました。私にとって1年目は、「吸収」「蓄え」の期間で、これからは、「熟考」「実践」の期間であると考えます。1年間行ってきた業務を振り返り、良かった点はさらに伸ばすにはどうするか、悪かった点はどのように改善したら良いかひとつひとつ考え、より良いものを市民の皆様に還元できるように努めていきます。この職は、栄養の知識だけでなく、幅広い知識が求められ、常に勉強は必要であると感じます。山梨市役所の管理栄養士と胸を張って言えるように成長していきたいと思います。

地域食材にふれて

研究教育事業部 山梨学院短期大学 牧野 美咲

栄養士として職に就き、現在の職場に勤務して今年で3年目になります。学生時代からお世話になっている先生方に沢山の教えとお力添えをいただきながら仕事に励んでいます。

栄養士養成教育に助手として携わり、学生と共に山梨県の食材や旬の食材にふれる機会が多いため、最近では旬の特産品や新しい食材を調理し食事に彩を添えることが休日の楽しみとなっています。また、学生が調理実習やレシピ集の作成、料理コンテストの開催と学習を重ねていくうちに、特産品（特に淡水魚、米粉、ヤーコンなど）の良さに気付き、特徴を活かしたレシピを提案してくれます。さらに家庭で調理した特産品の味の感想も教えてくれ、日々地産地消への関心が向上しているのを感じています。

山梨県で栄養士という食に関わる職に就いたからには、ひとりでも多くの人に山梨の食材にふれていただくこと、その食材の魅力を伝えられるよう、今後も地域食材についてさらに学び、レシピ集の作成などに努めていきたいと思います。

栄養士として

地域活動事業部 宮下 栄子

栄養士として地域での事業を担当し二年。人の役に立てることが何よりもうれしく感じております。昨年は、新人研修会に参加し栄養士の幅の広さを学ぶことが出来ました。また、それぞれの業務の中で目標や課題を持ち、努力を重ねて活躍されていらっしゃる先輩方の姿勢を知ること、栄養士の仕事の必要性を実感いたしました。

職域事業部のコーナー

学校健康教育事業部

学校健康教育事業部として ～未来を担う子どもたちのために～

学校健康教育事業部長 山梨県立ふじざくら支援学校
山下ますみ

学校健康教育事業部は主に公立小中学校や県立の特別支援学校に勤務する管理栄養士・栄養士が所属しており、部員 20 人程度の小さな部会です。年 2 回は学習会を開催し、様々な相談をしたり献立や教材のアイデアを教えあったりと横のつながりを大切にしています。学習会は参加する自分たちが楽しめること、給食業務にいかせるこ

とをテーマにいろいろな角度から内容を検討しています。H28 年度は「御師料理」や「かつお節のだし」について学習し、献立作成や食育活動に役立てています。学校給食の現場では、給食管理や衛生管理はもちろん、食物アレルギーの対応や大型給食センターの建設、調理委託業者の参入など様々な課題が山積しています。しかし、子どもたちにとって安全でおいしく、よりよい給食の提供ができるよう、日々努力を重ねています。私たちは、様々な家庭環境、食環境の中にいる子どもたちに「生きる力」を身につけるため、その柱である「知育」「体育」「徳育」のさらに礎となる「食育」を推進していく役割があると考えています。

公衆衛生事業部

公衆衛生事業部の活動状況

公衆衛生事業部長 峡南保健福祉事務所 藤原由紀子

公衆衛生事業部では、健康増進計画や食育推進計画に基づいた健康づくりの推進や健診時の栄養相談等生活習慣

病予防にむけた様々な取り組みをおこなっています。今は県・保健所、市町村がそれぞれに集まる機会を設けて勉強会をすることが多いですが、今年度は災害時における食支援活動について、もう一度考え、実践するためのスキルアップ研修等を実施する予定です。

研究教育事業部

多様な健康・栄養課題に対応するために

研究教育事業部長 山梨学院大学 古閑美奈子

研究教育事業部は会員 38 名で、主に教育活動及び研究活動等を行っています。

研究教育事業部関東甲信越・京浜ブロック研修会が、和洋女子大学にて9月3日（土）に「多職種連携による在宅医療・在宅生活における栄養士への期待」のテーマで行われました。千葉大学予防医学センター臨床疫学 藤田伸輔教授のご講演は、高齢者の生活を地域で支えるために、地域ケアシステムの構築が重要であり、千葉県の脳卒中パスを事例とし、地域連携・施設連携・多職種連携を進めていくことが重要という内容でした。医療法人社団福寿会 福岡クリニック在宅部栄養課 中村育子課長のご講演では、現在、在宅訪問栄養食事指導の必要性が増しており、在宅

における栄養評価項目、介護者の介護軽減のための嚥下食の事例等の紹介がありました。

健康・栄養課題は多様であり、常に新たな知識と技術を身につけ、県民の方々の健康増進・食生活改善に寄与できるよう活動したいと思います。



現在、私は市町村の母子保健の事業に携わっております。妊婦さんをはじめ、乳児、幼児と生涯の食生活の基礎をつくる時期に関わらせていただく中で、あらためて「食事は人の心と身体をつくる大切なもの」という意識が高まります。

それと同時に栄養士として確かな情報を提供し指導するためには、自らが正しく新しい知識を学ばなくては、との思いが増します。栄養士会に入会し、ともに学び、情報交換や相談ができる仲間ができたことはありがたい事です。

今後も栄養士会の研修会を活用させていただき学びの時間に繋げていきたいと思います。栄養士会をご紹介くださいました富士吉田市役所管理栄養士の外川さんにこの場をおかりして御礼申し上げます。本年が皆様にとりまして、幸多き年となりますようお祈り申し上げます。

栄養士として

勤労者支援事業部 公益財団法人キープ協会 キープ自然学校 橋住 輝幸

最近、自身が栄養士として働いているのか考えることがある。私が勤めている所は、清里にある公益財団法人キープ協会、キープ自然学校という、主に団体向けの宿泊施設で、食事を提供する仕事をしている。この文章だけを見たら栄養士として何もしていないのでは？と思う方もいらっしゃると思うが、アレルギー対応や献立作成等させて頂いているので栄養士の仕事もしていると思う。では、なぜそう考えるのか、一番の理由は自分自身がどんな栄養士になりたいかという目標がはっきりしていないからだと思う。私がこのキープ自然学校に、勤めようと思ったのも地場の食材を使った料理の勉強も出来、アレルギー対応等の栄養士としての勉強が出来るこの場所で、たくさんの事を学びたいと思い4年間勤めてきたが、いつの間にか忙しさを理由にだんだん仕事をこなしているだけになっているのではと私は考えている。皆様は、今どんな目標や、夢を持って栄養士として働いていますか？？私は、この文章を考えながら、まずは日々の仕事をしっかりこなし、管理栄養士の勉強をしながら、栄養士として自分にしか出来ないことをしていきたいと思った原稿依頼であった。

今年の抱負

医療事業部 あけぼの医療福祉センター 窪寺ゆかり

今年は酉年。私は年女です。今年はどんなことがあるでしょうか。

我が家では、長女が4月から社会人、次女が高校3年生となります。2人とも将来の夢のために日々努力を惜しまない姿に、我が子ながら感心しています。それぞれがしっかりと自分の道を歩いているようです。そして三女は甘えん坊で、私が出掛けると寂しいらしく、玄関で待っています。帰ると飛びついて後ろをついて回ります。

子供達も成長したのでそろそろ自分のための時間を作り、楽しみを作らなくてはと、料理やお菓子づくりを習いに行ったり、スポーツジムに通って汗を流したり自己投資を始めています。さらに今年はパワーアップして行動していきたいと思います。何を始めるか、考えるだけで毎日が楽しくなってきます。毎年、庭を花畑にしたいと夢描いていますが、私よりパワーのある雑草に勝つことは出来ません。しかし今年は頑張って庭一面に素敵な花が咲き乱れるようにしたいです。

日々の生活が楽しくなると、仕事も楽しくなってきます。今年1年、笑顔で頑張ります。

娘が気づかせてくれたこと

福祉事業部 和泉愛児園 梶原 智子

我が家には3歳の娘がいます。情けないことに、「ごはんのかわりにおかしたべたい」「おやさいきらーい」な娘に育ってしまいました。

仕事の忙しさに取り紛れて、家で娘と「食」を意識して過ごすこともほとんどなかったな、と思いました。振り返ってみれば、お手伝いをしたいと言ったり、料理をしたいと言ったこともあったのに「時間がない」を理由にさせてあげず、‘食育’の絶好のチャンスを逃していたように思います。

先日娘が感染症で一週間ほどこども園をお休みしました。後半はかなり元気もあったので、一緒におにぎりづくりに挑戦しました。ただの塩むすびでしたが、大喜びし、‘のどにつまるから’という理由で普段あまり食べてくれないおにぎりを3個も食べました！「こんなに効果があるとは・・・」食事作りに関わるのが食べることへの関心につながることをあらためて実感しました。その後すぐにこども用包丁を購入し、盛り上がっている私と娘です。

核家族化が進む今、忙しいお父さんお母さんにとっては、食への関心を高めることができる、‘一緒のお料理’や‘野菜づくり’などは正直言って手間だし、面倒でしょう。でもちょっと頑張ってみるだけでたくさんの効果と感動を得られること、あらためて伝えられたら良いな、と思いました。“働く親への食育支援”。そちらにも力を入れていきたいと思う今日この頃です。

勤労者支援事業部

勤労者支援事業部の栄養士として果たす役割

勤労者支援事業部長 公益財団法人キープ協会 **大柴 由紀**

「働く世代の健康管理」の中で食生活はどのくらいの認識がされているのでしょうか。

私の職場でも健康診断があります。結果、異常ありとなってしまった上司がいました。食事指導が入り、「3食きちんと食べないと・・・」とアドバイスされたそうです。でも、上司は一言。「こんな仕事をしてたら、そんな事出来ないよな・・・」

数年前の場面ですが、今になって思うと、「その通りだな。」と思います。

食事の内容も必要ですが、職場の環境も大切。食生活の改善にはご本人気づきも大切ですが、それをサポートする職場環境も大切だと気づかされました。

経験の少ない私は、諸先輩方に比べればそんな知識や認識はまだ微力とは思いますが、勤労者支援事業部の栄養士として果たす役割として、そんなことにも思いを馳せるようになってきました。

自分にできる仕事を見つけて私たちの部会も地道な活動を続けていきたいと思っています。

地域活動事業部

地域活動事業部の活動・研修報告

地域活動事業部長 **前田 英美**

1) 児童館における出前栄養相談事業は、今年度過去最多の7市町村34会場35回での開催となります。『なんでも食べる子、元気な子』をテーマに「塩山式手ばかり」と「子供の頃からの減塩」の2つの内容で、媒体や配布資料を統一化して行いました。事前研修会には多くの部会員のご参加ご協力があり、担当された会員が対象年齢に合わせて工夫を凝らし、好評にて残りわずかで終了予定です。

2) 健康談話室での「元気っ子クラブ」事業は、毎月1回乳幼児とその保護者に向けての栄養講話と個別相談を行っています。各回10組以上の参加があり、個別相談は20件以上。月齢差、個人差が大きく、対象に合わせて即答出来る正しい知識をもって、母親の気持ちに寄り添った

医 療 事 業 部

医療事業部 28年度スローガン 病院から在宅までシームレスな 栄養管理・栄養指導を目指そう

医療事業部長 山梨大学医学部附属病院 **小林 貴子**

本年度の医療事業部は、年度初め5月27日に「摂食・嚥下障害の食事」「平成28年度診療報酬改定」についての研修会を開催し、49名の方に参加していただきました。平成28年度の診療報酬改定では、20年ぶりの外来・入院栄養食事指導の要件及び点数の見直しが行われ、栄養指導加算対象に「がん」「摂食・嚥下機能低下」「低栄養」の患者に対する治療食が新規に加われました。また点数は1回の栄養指導に130点(1300円)から初回260点(2600円)・継続200点(2000円)と増額し、病院栄養士とし

ては念願の改定となりました。

また、9月4日には、山梨県栄養士会への依頼として、がんフォーラム山梨主催の第10回がんフォーラム・かいぶらり健康フォーラム「山梨のがん医療これまでとこれから」への協力事業を他の事業部の皆様のご協力をいただき行いました。主な実施内容は、「食事診断」と「栄養相談」です。また、9月18日には「日本糖尿病教育・看護学会学術集会」の市民公開講座のブース展示をコラニー文化ホールにて行い、平井副会長を中心に5名参加しました。

今後とも、医療事業部では、会員の知識向上を図り病院から在宅までシームレス（切れ目のない）な栄養管理・栄養指導を目指し、各職域事業部の皆様とも連携していきたいと考えています。

福 祉 事 業 部

多くの会員が研修会に参加しています

福祉事業部長 高齢・障害 特別養護老人ホーム 花菱荘
川窪真由美

今年度、福祉事業部においては、「油脂栄養と中鎖脂肪酸～低栄養・認知症への対応」について研修しました。学生時代に聞いた言葉を思い出して、利用者様への食事の基礎を学びました。また、10月18日には、衣笠病院の木村麻美子先生より「高齢者への食事支援～お看取りまで」と題し、食事が食べられなくなっていく利用者様への食事支援法や、ご家族様に、栄養士としての接し方、多職種で

協力していく大切さを実践に即した内容で講演頂きました。また、安全な食事のポイントとして、実習の中で、各自が顔にテープを張り片麻痺の状態で、お互いに食事介助することで、食形態や、食事時の姿勢の大切さを経験することが出来ました。日頃の食事介助や食形態を見直すよい機会になったと思います。

日本栄養士会福祉事業部開催のスキルアップの研修会にも多くの会員が参加し、実践に即した栄養ケア・マネジメントが出来るよう頑張っています。

少しでも、期待に応えられるよう会員の皆様と協力していきたいと思っています。

～活動報告～

福祉事業部 児童担当 甲南立正保育園 **風間 智恵**

今年度は、子どもたちを取りまく食環境・家庭状況が多様化する中、心と身体の健やかな成長・発達の支援に繋がる内容の研修会を開催しました。6月に山梨学院大学健康栄養学部教授 松本晴美先生を講師に「平成26年度県民栄養調査から見える幼児の生活・食生活の課題」について具体的なデーターをもとに、子どもと家庭への支援のポイントを学び、8月は「児童福祉施設におけるスキムミルククッキング講座」を開催し、山梨学院短期大学 根津美智子教授よりスキムミルクを使った調理実習とスキムミル

クへの理解と活用方法について、おざわ歯科医院 小澤章院長より乳幼児の食べる機能の発達について、嚥下体験を交えながら乳幼児期の咀嚼・嚥下の理解を深め、山梨県農政総務部農政企画監 斉藤修先生より山梨県の地場産物について研修しました。10月には保育協議会との初の合同研修会で山梨厚生病院小児科 池田久剛先生より食物アレルギーの知識と緊急の対処法について研修しました。2月には魚の魅力の伝道師、(株)ウエカツ水産代表取締役(元水産庁勤務)上田勝彦先生による講演を予定しています。今後も、会員同士スキルを上げ、子どもたちの未来に繋がる笑顔のために日々精進していきたいと思っています。



栄養ケアプロセスについて

副会長・山梨県栄養士会副会長・県立北病院 栄養士長 平井 美樹夫

栄養士として栄養管理する標準方法が栄養ケアプロセス（Nutrition Care Process）です。今まで栄養管理の方法は各国バラバラでやっていました。しかし世界基準で統一した方がどこに移動しても便利であり、栄養士という資格も世界的標準でアピールできることから、2005年にシカゴで行われた国際会議で、アメリカ栄養士会が推進していた「栄養ケアプロセス」を世界標準として広めることが決定されました。

その過程は大きく4つに分けられ、対象の情報収集を収集（栄養アセスメント）し、栄養状態について登録された項目の中から現在の栄養状態を選び（栄養診断）ます。栄養状態を改善させるための具体的な手段を実行（栄養介入）し、栄養状態の改善状況を確認（栄養モニタリングと評価）しながら、栄養改善を進めていくというものです。なお、どの段階でもPDCAサイクルで常に方法や判断が適切であったか検討していくことが重要となります。

この栄養管理方法で新しく出てきたのが栄養診断です。栄養診断は摂取量、臨床栄養、行動と生活環境と違う角度から見た70項目から構成されます。その中から重要と考えられる診断名を3つ以内に絞り込みます。そして診断は「BMIが30であることから間食と夜食のエネルギー過剰摂取が原因となった『体重過多・病的肥満（内臓脂肪型肥満）』の状態と栄養診断できる。」というように、症状／徴候や要因を記入してから診断名を書くようにします。

これらの選択項目はアメリカで作られたため、日本人の感覚や文化と合わない点もありますが、選択肢が用意されているため経験の少ない栄養士でも見落としなく栄養管理を進められるというよい点もあります。実施するためには選択項目全体を理解しておくことが不可欠です。栄養士なら誰でも「栄養ケアプロセス用語マニュアル」を熟読し、選択項目を使いこなせるようになって欲しいと思います。



在宅訪問栄養指導従事 管理栄養士育成研修会を開催して

副会長・栄養ケア検討委員会 深澤 幸子

高齢社会と言われる今、在宅高齢者の摂食・嚥下障害、低栄養、慢性疾患で悩んでいる方々への適切な栄養管理や食事指導で苦慮している現実が目前にあります。

県内でも協議会など立ち上げ、多職種連携で在宅医療に取り組み活動をしている様子を見聞きし、訪問看護師さんから栄養・食に関する質問を受けたりする事があります。

その様な中、山梨県栄養士会では各医療機関に「管理栄養士による在宅ケアご利用の手引き」を作成し認知していただけるよう準備も整えました。

しかし、専門職である管理栄養士は中々連携の輪の中に入れていない現実があります。多くの問題はありますが、まずは管理栄養士の使命としてさらなるスキルアップが私たちの課題だと感じておりました。そこで今年度、栄養士会では在宅高齢者の問題に取り組んでおられる先生をお招きして7月・8月に多くの会員の参加により、2日間開催し現場に即した研修会をしていただき「学び」を深める事が出来たと感じております。

内容：7月9日（土）10：00～16：00

医療・介護保険における訪問栄養指導の制度

山梨学院大学健康栄養学部 教授 影山光代先生

在宅訪問栄養に求められる栄養・食支援
愛全診療所 管理栄養士 佐藤悦子先生

在宅医療を行うにあたって管理栄養士に望むこと
長田内科クリニック 名誉院長 長田 忠孝先生

8月8月2日（火）10：00～15：00
介護食調理の実際・訪問栄養の実際
かとう内科クリニック 管理栄養士 田村 佳奈美先生

今後もし引き続きスキルアップのための研修を計画していきますので参加して活動への自信をつけていきましょう。

各職域事業部の 「課題・取り組み・今後の取り組みの方向性」を聞きました。

会長 田草川憲男

県民の健康づくりを推進するための栄養士・管理栄養士業務は多岐にわたり、また新たな健康問題が出現し、その時々への対応を迫られていることと思います。「栄養・食生活の重要性」について、多職種との連携や共有することにより、栄養士・管理栄養士業務がさらに理解され、活動の範囲が広がりを見せ始めています。

今後とも、会員同士お互いにつながっている課題や今取り組んでいること、今後取り組まなければならないことなどを出し合い共有し、理解し、協力し合うことが大切であるといわれています。

以上のことから、各職域事業部長さんに「各職域事業部が抱えている課題」「職域事業部及び部員（所属会員）が今取り組んでいること（日常の業務）」「今後取り組まなければならないこと」について、アンケート調査いたしました。

つきましては、自分が所属している職域域事業部の課題の再確認や他職域事業部の課題や取り組みについて、共有し、今後の、スキルアップ研修会のテーマや取り組みの参考とされますようお願いいたします。

学校健康教育事業部

抱えている課題

課題1：事業部員が他の職域に比べ少ないこと

説明：対象となる部員の多くが公立小中学校勤務で全国食育推進研究会（学校栄養士会のような感じで会費も払っている）に属している為、本会への入会者が少ない。本会に入会する利点をうまく説明できていない。

課題2：給食での食物アレルギーへの対応

説明：各学校において対応マニュアル等を作成し、給食での対応を行っているが、学校によって対応にバラツキがあり、他職種との連携が難しい。

今取り組んでいること

・和食の推進とだしの活用による減塩

説明：その地域の郷土料理の推進や給食献立内容を客観的に見直し、減塩しても美味しい献立の検討

・特別支援学校の給食の特徴を把握する

説明：児童生徒の身体状況を把握し、学校給食エネルギー目標量を算出

今後取り組まなければならないこと

・事業部員増加の為、魅力ある学習会の実施が必要

（会員外の人にも参加してもらい自分たちの活動を知ってもらう機会とする）

・学校保健に関する職種（養護教諭や看護師）と連携をとり、共通のテーマで学習する機会を探す

・日々取り組んでいる業務をそれぞれがデータとしてまとめ、いろいろな場所で発表を行う

公衆衛生事業部

抱えている課題

課題1：若い世代への食のアプローチ

説明：高校生～20代・30代は、食の課題が多い事がわかっているが、介入が難しく、若い世代への食のアプローチ方法が大きな課題となっている。

課題2：高齢者への栄養管理(把握)の必要性の周知不足

説明：高齢者の低栄養等問題になっているがどのような方法で高齢者分野に関わっていくかが課題となっている。

課題3：母親の食技術・知識

説明：最近では、母親の調理技術や食への関心が薄いため、母子健診等で食支援について悩むことがある。そのような母親への効果的な支援方法について課題となっている。

課題4：行政栄養士の人材育成等

説明：行政栄養士の人数が少なく経験年数に応じた育成、支援とその継続が困難である。

課題5：食改の運営方法

説明：食の課題が多くなっている中、健康づくりの担い手として食改の活動が広がってきている。しかし、最近では食改のなり手が少なく、組織づくりに市町村栄養士が苦慮している。

今取り組んでいること

食育推進計画の見直し

説明：平成28年度から国の第3次食育推進基本計画が推進されており、それに併せて第3次やまなし食育推進計画を策定、各市町村においても次期食育推進計画を策定又は策定に向けて取り組んでいるところである。なお、各市健康増進計画と合わせて一つの計画にする市町村も増えてきており、健康づくりを目標に様々な計画が上手く重なり、連携しながら健康づくりを進めている。

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

公益社団法人 山梨県栄養士会 役職員一同

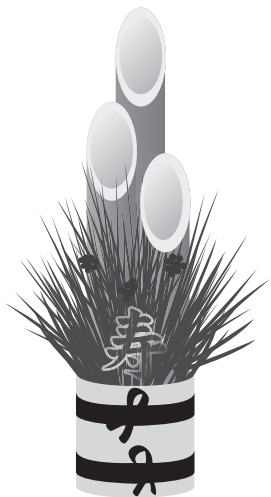
役職名		氏名	勤務先名
会 長		田草川 憲 男	山梨学院短期大学食物栄養科
副 会 長		深 澤 幸 子	保坂内科クリニック
		平 井 美樹夫	県立北病院
常 務 理 事		秋 山 知 子	
部	総 務 部	小 林 貴 子	山梨大学医学部附属病院
	事 業 部	藤 原 由紀子	峡南保健福祉事務所
	学 術 部	古 閑 美奈子	山梨学院大学健康栄養学部
	組 織 部	山 下 ますみ	ふじざくら支援学校
長	広 報 部	大 柴 由 紀	(公財) キープ自然学校
	学 校 健 康 教 育	山 下 ますみ	上野原小学校
職 域 事 業 部	公 衆 衛 生	藤 原 由紀子	中北保健福祉事務所
	研 究 教 育	古 閑 美奈子	山梨学院大学
	勤 労 者 支 援	大 柴 由 紀	(公財) キープ自然学校
	地 域 活 動	前 田 英 美	
長	医 療	小 林 貴 子	山梨大学医学部附属病院
	福 祉	川 窪 真由美	特別養護老人ホーム花菱荘
支 部	中 北	青 木 慎 悟	山梨学院短期大学食物栄養科
	峡 北	堀 込 かずみ	北杜市立甲陽病院
長	峡 東	青 木 雅 子	笛吹市役所健康づくり課
	峡 南	柿 島 穂津美	特別養護老人ホームしもべ荘
	富 士・ 東 部	黒 澤 東 江	みのりの里老健旭ヶ丘
公 衆 衛 生		小 池 あゆみ	甲州市健康増進課
地 域 活 動		佐 野 桂 子	
福 祉		守 屋 喜久代	介護老人施設コスモ
福 祉		風 間 智 恵	甲南立正保育園
監 事		大 森 光 子	大森・中込税理士事務所

新年を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます

平成 29 年 元旦
 公益社団法人 山梨県栄養士会 賛助会員 (順不同) 平成 29 年 1 月 1 日現在

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ア 株 式 会 社	055-241-1755	相 川 秀 樹	防鼠害虫駆除
和 泉 産 業 株 式 会 社	055-222-1153	飯 野 知 彦	食器、厨房機器
大 塚 製 菓 甲 府 出 張 所	055-276-8581	藤 井 一 徳	ポカリスエット、ネイチャーメート
オ ギ ノ 食 糧 (株)	055-222-5181	深 沢 千恵子	給食材料
(株) オ ズ プ リ ン テ イ ン グ	055-235-6010	丸 山 健	印刷、出版、紙工
(株) 三和化学研究所 東京支社	03-3232-0571	中 山 清 高	医療用食品の研究開発・販売
甲 信 食 糧 (株)	055-273-4561	入 倉 斉 二	食品材料卸
シ キ シ マ 醬 油 (株)	055-273-6844	小 林 秀 男	醤油、減塩調味料、ジャネフ製品
信 濃 化 学 工 業 (株)	0262-43-1115	営 業 部 上 野 清 登	食器、トレイ
(株) テ ン ヨ 武 田	055-266-5251	深 沢 正 道	醤油、給食材料
(株) 日 新 厨 房 企 画	055-273-3881	杉 本 哲 史	厨房設備の企画・設計・施工管理、厨房機器販売、修理・保守点検管理、厨房に関する相談業務
(株) は く ば く 管 理 本 部	055-274-8989	望 月 哲 也	麦の総合食品メーカー、「骨太家族」
湊 與 (株)	055-226-3742	小 野 健 一	鮮魚、煮貝
(株) マ ル ハ チ 村 松	03-6225-2503	山 田 悟 志	鰹の素、だしの素
山 梨 ヤ ク ル ト 販 売 (株)	055-237-8960	柳 本 剛	健康科学ヤクルト
三 信 化 工 株 式 会 社	03-3539-3414	飯 塚	メラミン、ポリプロ食器
テ ル モ 株 式 会 社	0263-48-0701	大 庭 幸一郎	医療用食品の製造、販売
東 洋 羽 毛 首 都 圏 販 売 株 式 会 社 西 東 京 営 業 所	042-675-8811	片 野 博 之	羽毛布団
東 京 サ ラ ヤ (株) 東 京 営 業 所 八 王 子 出 張 所	042-620-0321	松 田 康 志	食品衛生材料、栄養食品の製造、販売
日 清 医 療 食 品 (株) 中 部 支 店	026-269-6700	崔 田 学	給食委託業務、給食材料、濃厚流動食
株 式 会 社 岩 崎 松 本 営 業 所	0263-39-0501	荻 原 哲 也	食生活、栄養指導用食品模型製造、販売
株 式 会 社 ク リ ニ コ	03-3793-3939	森 川 貴 子	病態栄養食品の普及、販促
東 洋 シ ス テ ム サ イ エ ン ス	045-451-3191	天 野 雅 浩	給食・栄養管理及び指導ソフト「カロリーメイク」の開発販売
(株) オ オ キ	055-273-6644	芦 澤 秀 雄	食品、環境の衛生管理、ソフト、ハードの全般
(株) ユ ウ シ ス テ ム	055-223-3085	山 口 竹 夫	福祉関係ソフトウェア開発、コンピューター機器販売
株 式 会 社 明 治 関 東 支 社	042-540-7322	志 村 有希子	栄養食品、乳製品製造、販売
花王(株)ヘルスケア食品研究所	03-5630-7267	吉 本 弥 生	花王製品の販売
長 谷 川 化 学 工 業 株 式 会 社	047-482-1001	本 田 光 夫	まな板・ほうちょうなどの製造販売
大 陽 食 品 株 式 会 社	055-224-5415	新 津 明	業務用総合食材、老人医療用食材卸

社 名	電 話	担 当	業 務 内 容
エ コ ラ ボ 株 式 会 社	03-5285-2653	松 野 泰 明	洗浄剤、殺菌剤の製造、販売
株 式 会 社 せ ん だ い	055-262-1170	伊 藤 英 文	納豆の製造販売
カゴメ株式会社 東京支社	03-6667-1771	浜 井 純 子	飲料、調味料・パスタソースなどの製造・販売
伊 那 食 品 工 業 株 式 会 社	0265-78-1121	小田切 誠	寒天及び介護食用寒天製品・家庭用食料品（デザート等）製造・販売
トオカツフーズ株式会社	045-564-5741	森 田 道 昌	弁当・おにぎり・サンドイッチ・惣菜・麺類などの調理済食品及び冷凍弁当・冷凍惣菜などの製造販売宅配
株 式 会 社 お ぎ そ	0572-59-8639	矢 倉 尚	学校・保育所・病院・福祉施設の給食用食器、リサイクル強化磁器食器の製造販売。破損した強化磁器食器の回収・リサイクル等、環境に配慮した事業活動
株 式 会 社 コ ー ゲ ッ	055-260-7311 080-3472-9586	山 梨 営 業 所 加 藤 良	冷凍食品・食材関連品の卸販売業務
生活協同組合パルシステム山梨	055-243-6327	小 沢 浩 二	食品・家庭用品等の販売
味の素冷凍食品株式会社	03-5798-8653	佐 藤	冷凍食品の研究開発・製造・販売
ホシザキ東京株式会社山梨支店	055-237-7126	坂 元 誠 治	業務用厨房機器の販売及びアフターサービス
サ ン ワ フ ー ズ 株 式 会 社	0550-83-1122	齊 藤 猛	病院・老健施設給食、社員食堂・レストラン等
株式会社インフィニバリュー	070-6988-0025	玉 川 眞奈美	メニュー、新商品開発及び販路拡大・アレルギー対応食、食材のプロモーション
有限会社 糧とく東京営業所	03-5246-4203	伊 藤 喜 嗣	米（給食用）の精米・販売、厨房・医療機器の販売、業務用パン（常温・冷凍）の卸売等
味の素(株)東京支社甲府出張所	055-268-1255	岡 山 幹 信	家庭用・外食用の調味料、加工食品の販売
ライオンハイジーン株式会社	03-5819-6667	本 多 美 邦	業務用洗剤、除菌剤の製造販売 総合衛生管理提案・診断・講習の実施
SOMPO リスケアマネジメント(株)	03-5209-8910	泰 雄 基	特定保健指導事業



事務局からのご案内

1. 会費納入について

◎毎年の会費の納入は自動引落でお願いします。（毎年4月10日に引落します）
自動引落とし手続きは、山梨中央銀行本・支店、又はゆうちょ銀行で自動払込利用申込みを行って下さい。
手続きには、通帳と印鑑が必要です。
振替指定口座（中銀）または払込先（ゆうちょ）は、下記の会費振込先のそれぞれの口座です。

☆山梨中央銀行の指定口座

山梨中央銀行甲府駅前支店 （普通）287296
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 108 円

☆ゆうちょ銀行の指定口座

口座 10890 - 11752671
公益社団法人 山梨県栄養士会

引落手数料 25 円

◎平成29年度 年会費の納入のお願い

自動引落の手続きをとられていない会員は、平成29年3月31日（金）までに納入をお願いします。
納入先は上記、山梨中央銀行又は、ゆうちょ銀行の指定口座をお願いします。

山梨中央銀行 (ATM) (窓口扱)		
山梨中央銀行甲府駅前支店からの場合	108 円	216 円
山梨中央銀行本店・他支店からの場合	216 円	324 円

ゆうちょ銀行	
通帳から振替（窓口扱）	144 円
通帳から振替（A T M扱）	無 料
現金を窓口で払込	540 円

会 費

日本栄養士会費 6,500 円
山梨県栄養士会費 7,500 円
連盟会費（連盟の口座） 2,000 円

（※会費の領収書は通帳記載、コンビニ払込受領証等により代えさせて頂いておりますが、必要な場合は、事務局までご連絡下さい。）

2. 会員証の有効期限について

標記につきまして、現在使用しております会員証の有効期限は2017年3月31日と記載されておりますが、日本栄養士会より、「会員証には有効期限を設定しない」旨通知があり、現在、皆様のお手元にごございます会員証に記載されております有効期限を過ぎても、引き続き現在の会員証をご利用いただくこととなりました。なお、紛失の場合はこれまで通り、有料（1,000円）にて再発行いたします。

編 集 後 記

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願いいたします！！

J D A - D A T（日本栄養士会災害支援チーム）や在宅訪問栄養指導、特定保健指導と管理栄養士・栄養士に注目が集まっています。その注目が失望にならないよう益々、自己研鑽が必要です。栄養士会の開催する研修会には積極的に参加し、充実した1年にしましょう。

（編集委員一同）

3. 会員登録事項の変更は早めにご連絡を！！

- ・住所が変わった時・・・
- ・勤務先が変わった時・・・
- ・結婚等で姓が変わった時・・・
- ・県外に引っ越しの時 → <転出届>
- ・退会の時 → <退会届>

☆これらの変更があった時は、必ず、県栄養士会へ連絡をいただくか、「会員WEBサービス」にてご自身で会員データの変更をお願いいたします！更新方法は、本誌P 6「栄養士会のWEBサービスを利用しましょう！！」をご覧ください。

4. 事務局の年末・年始について

平成28年12月29日（木）～平成29年1月5日（木）までお休みとなります。

◎編集委員

田草川憲男、秋山 知子、大神田志保
青木 雅子、塚原 順子、天野江津子
丸山 通子、細井 洋子、望月麻里子



栄養やまなしNo. 104 平成 29 年 1 月 1 日

発 行 所 公益社団法人山梨県栄養士会

〒400-0805 甲府市酒折1丁目1-11 日星ビル4階

TEL/FAX 055-222-8593

ホームページアドレス http://www.eiyouyamanashi.com/

メールアドレス yamaei@sky.plala.or.jp

印 刷 所 (株)オズブリンティング

◆山梨県栄養士会 HP の会員専用ページへの入り方 パスワード：yamaei2013